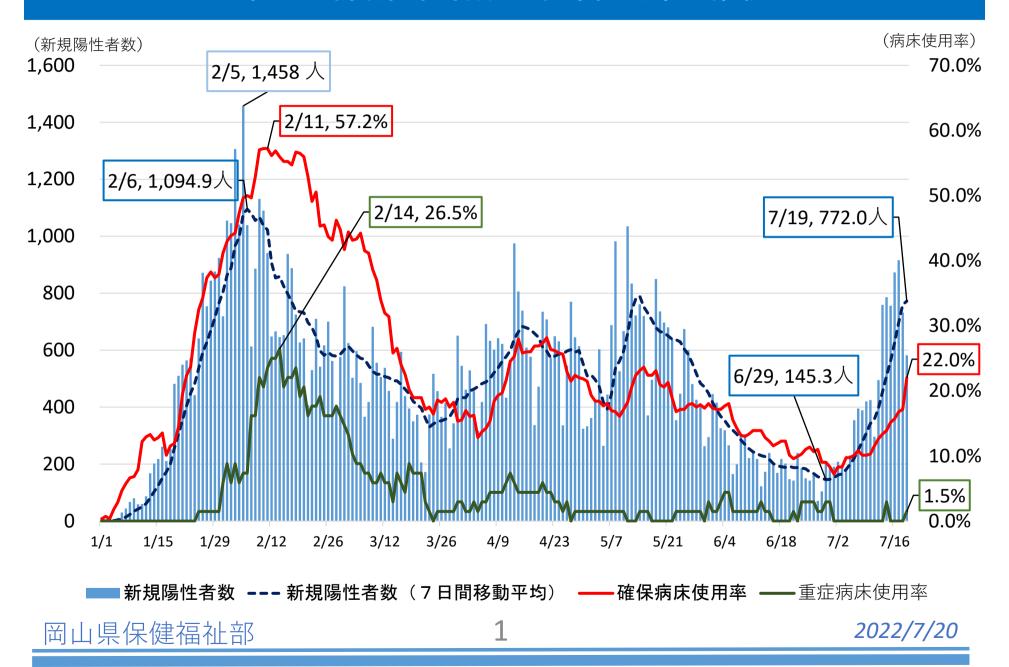
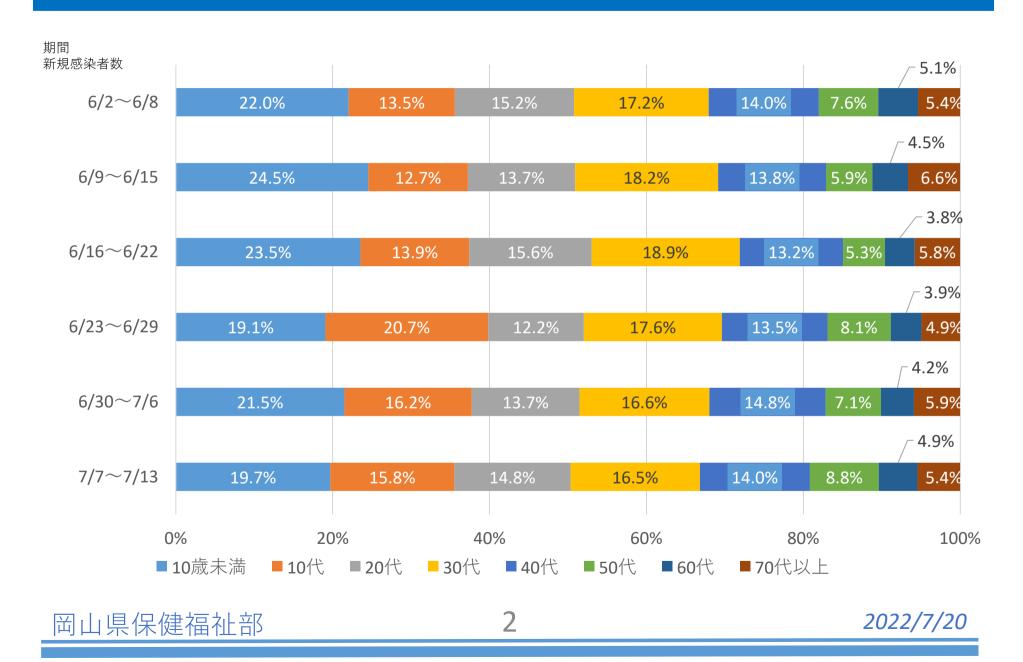
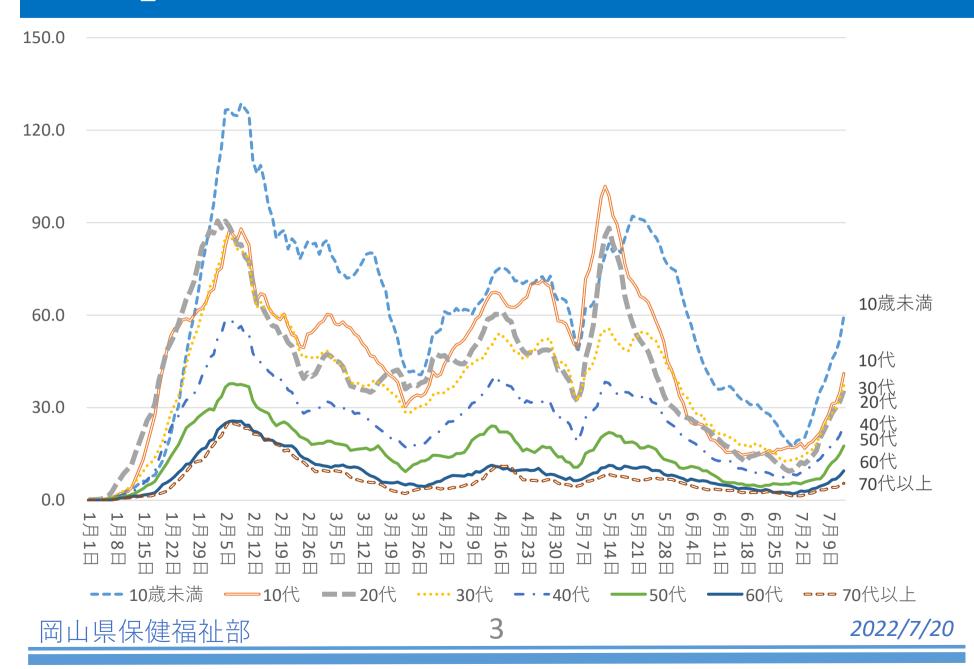
## 最近の新規陽性者数と病床使用率の推移



## 新規陽性者の年代別構成の推移

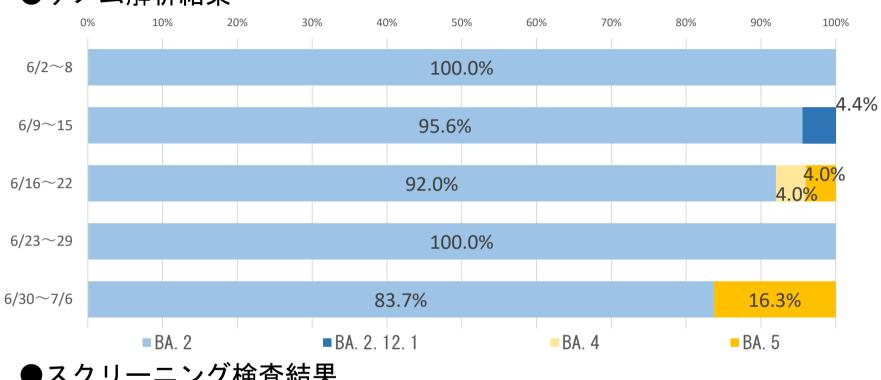


## 年代別\_人口10万人当たりの新規陽性者数(7日間移動平均)の推移

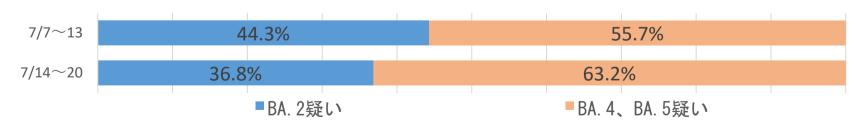


## 県環境保健センターによるゲノム解析結果等の推移

## ●ゲノム解析結果



## ●スクリーニング検査結果



# 県内のワクチン接種(3・4回目)状況(2022年7月18日現在)

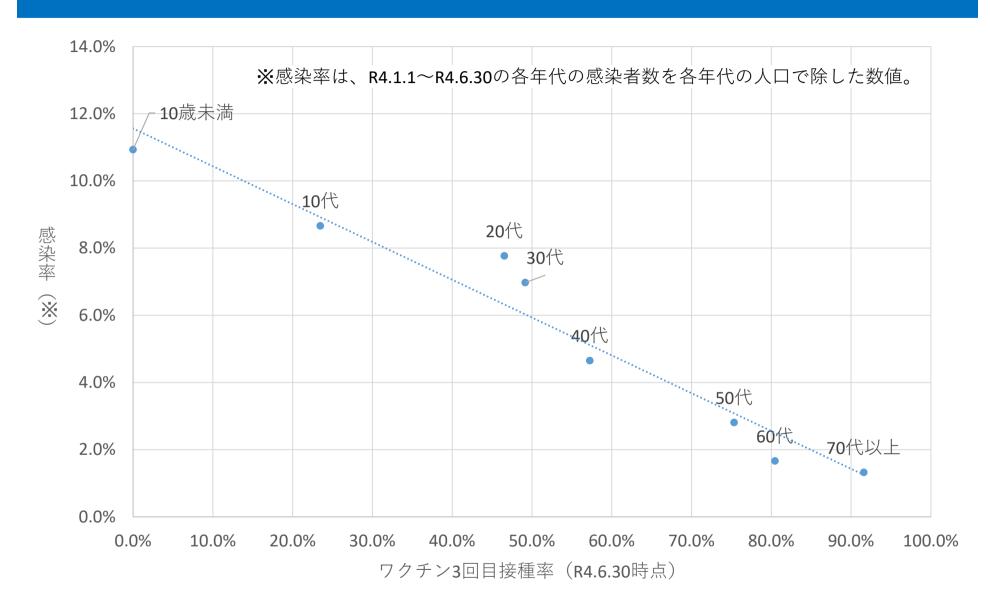
区分	人口	3回目回数	3回目接種率	4回目回数	4回目接種率
12~64歳 ※4回目は18~59歳	1,137,642	647,297	56.90%	2,865	_
65歳以上 ※4回目は60歳以上	568,499	512,713	90.19%	51,640	7.60% 全国10.91%
合計 (12歳以上)	1,706,141	1,160,010	67.99%	54,505	<u> </u>
合計 (全年龄)	1,893,791	1,160,010	61.25% 全国 <b>62.27</b> %	54,505	_

- ・ 人口は【統計】令和3年住民基本台帳年齢階級別人口(市町村別)令和3年1月1日時点。
- 12~64歳の人口は推計値であり、年齢不明の者の接種回数を含む。

	12~19 歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	合計
3回目	29.78%	47.01%	48.81%	57.27%	75.05%	81.76%	90.34%	94.31%	67.99%

• 接種率は接種対象人口推計値を基に算出

## 年代別の感染率と3回目ワクチン接種率の相関関係



## 夏期の感染拡大防止に向けた知事メッセージ(R4.7.15)

オミクロン株の新しい系統に感染する方が増えています。 高齢者など重症化リスクの高い方の命と健康を守るためにも改めて 基本的な感染対策を徹底しましょう。

### エアコンを使用している時にも十分な換気を

• 冷房時でも、3密(密閉・密集・密接)回避のために、定期的に空気を入れ替えるなど、換気を徹底しましょう。

## 熱中症に注意しながらマスク着用を

- 基本的な感染対策としてマスクの着用は大切です。
- 会食時を含め、会話をするときは必ずマスクを着用しましょう。
- 屋外で、会話をほとんど行わない場合や十分な距離 (2 m以上を目安) が確保できる場合は、熱中症防止の ためマスク着用は不要です。

### 体調が悪い場合は、外出を控え医療機関受診を

発熱、のどの痛み、咳など少しでも体調が悪い場合は、外出や帰省、旅行を控え、すぐにかかりつけ医等を 受診しましょう。

### ワクチン接種を

- 発症や重症化を予防するため、早期のワクチン接種をお願いします。
- 特に、若い方の3回目、60歳以上や基礎疾患を有する方などの4回目接種をお願いします。
- 帰省や旅行、イベント参加にあたっては、事前に、ワクチン接種又は検査の陰性結果を確認しましょう。

- 1.ワクチン接種の加速化
- 2.検査のさらなる活用
- 3. 効率的な換気の提言
- 4.国・自治体による効率的な医療機能の確保
- 5.基本的な感染対策の再点検と徹底

## 効果的な換気の提言① (新型コロナウイルス感染症対策分科会R4.7.14)

### ①エアロゾル感染+②飛沫感染 ※ の対策が必要

(※) 飛沫感染:ウイルスを含む飛沫が口、鼻、目などの露出した粘膜に付着することにより感染すること。

#### ① エアロゾル感染の対策

エアロゾル粒径と感染の関係が明らかになっていないため、A+Bの対策が望ましい。

#### A 大きい粒径が到達する風下での感染の対策

人の距離を確保、横方向の一定気流を防止 (扇風機首振り・エアコンスイングなど)

#### B小さい粒径が浮遊する空間内での感染の対策

必要な換気量(1人当たり30m/h以上、CO2濃度1000ppm以下)を確保

#### ② 飛沫感染の対策

マスクの装着、飛沫放出が多い場合には直接飛沫防止境界(パーティションなど)を設置



室内環境中の飛沫の挙動と伝搬の可能性

#### 対策の要点

- ① 空間のエアロゾル除去 (換気) 性能の確保
- ・換気量(CO。濃度)基準を満たすことは、多くの建物の換気設備で可
- 換気設備の性能が不十分な場合は、窓開け換気を実施。
- ② エアロゾルの発生が多い行為等への対応
- エアロゾル発生が多い行為(口腔ケア、激しい運動)が想定される場 合には、A 風下での感染+B 空間内に拡散することによる感染の双方を 十分に配慮。

#### ③ 換気量増加 (窓開け換気) の副作用への配慮

- 冬期には寒さ(ヒートショック等)、夏期には暑さ(熱中症等)と湿 気(結露による真菌細菌等)に配慮。
- 夏期には、温度計を設置し室温をモニターしながら冷房と換気を同時 に行い、熱中症とならないよう工夫。
- 窓開けが難しい場合には、CO。濃度を確認した上で、必要に応じて人の 密度を抑制(人距離確保と感染者が存在する確率を抑制)、空気清浄 機を利用。

#### エアロゾル感染を防ぐ空気の流れ

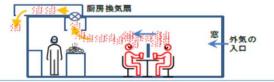
#### 窓が2方向にある場合

エアロゾル発生が多いエリア から扇風機、サーキュレータ で排気し、反対側から外気を 取入れる。

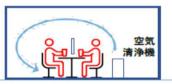


外気の 入口 窓が1方向にしかな い場合はドアも活用

#### 換気扇がある場合 換気扇で排気し、 反対側から外気 を取入れる。



換気扇・窓がない場合 空気清浄機でエアロゾルを捕集。



## 効果的な換気の提言② (新型コロナウイルス感染症対策分科会R4.7.14)

### 換気を阻害しないパーティションの配置について

- 空気の入口(給気口)と出口(排気口)を確認
- 空気の流れを阻害しないようにパーティションを配置

#### [高いパーティションを用いる場合の留意点]

(天井からのカーテン、目を覆う程度の高さより高いパー ティションなど)

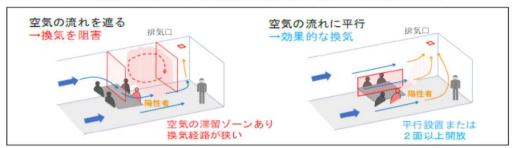
- ①高いパーティションは、空気の流れに対して平行に配置する。
- ②高いパーティションと壁で囲まれた空間ではCO<sub>2</sub>濃度 を測定し、濃度が高い場合には空気清浄機やファン (扇風機、サーキュレータ、エアコンの送風)を用い て換気を改善する。
- ③ ファンを用いる場合には、風下での感染対策のために 首振りやスイングを用いる。
- ④高いパーティションの隙間には気流が集中するため、 その風下には席を配置しない。

#### [低いパーティションを用いる場合の留意点]

(目を覆う程度の高さのパーティション)

① 横の人との距離を1m程度以上確保できる場合は、空気によどみを作らないように、3方向を塞がないように配置する。

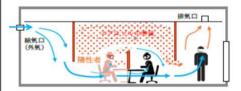
●パーティションの配置や形状により、換気が感染対策に有効に働かない場合があります。



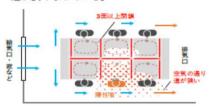
●以下のような場合もパーティションによる換気阻害の恐れがあります。マスクや離隔距離の確保に加え、パーティション設置も工夫しましょう。やむを得ず、高いパーティションと壁で囲まれてしまう場合は、二酸化炭素濃度測定・空気清浄機の使用・ファンによる換気の改善等が必要です。

#### <換気が阻害される例>

パーティションにより給排気口のないエリア が発生し、エアロゾル濃度が高まる。

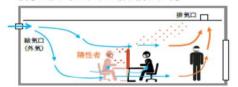


●人との離隔が狭く、3面以上のパーティション により囲まれている。壁との間で空気の通り 道が狭くなっている。

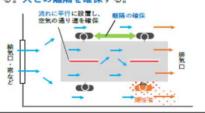


#### <改善例>

パーティションは空気の流れを遮らないように 目線の高さ程度までとし、空気が滞留する部分 を発生させないように最小限とする。



●パーティションは空気の流れを遮らないように 流れに平行に設置し、空気の通り道を広く確保 する。人との難隔を確保する。



※上記図表の作成に当たっては、山本佳嗣東京工芸大学准教授、尾方壮行東京都立大学都市環境学部建築学科助教にご協力いただいた。

## 基本的な感染防止対策(※高齢者等施設用)

### 【施設内共通】

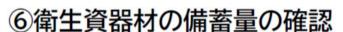
- ①目、鼻、口を保護する(マスク、フェイスシールド、ゴーグル等)
- ②共用物を触ったら正しい手順で手洗い 又は 消毒する
- ③三密を避ける



【施設·職員】

④個人防護具(マスク、手袋、エプロン)の正しい着脱

⑤更衣室、休憩室での感染防止 使用人数の制限、使用時間の分散、会話時のマスク着用、日常的な換気・清掃、共用物を減らす



⑦体調が悪い(発熱、咳、その他心身の不調)ときは無理せず休む体制 日々の体調確認、休暇を取りやすい環境や不調を相談しやすい体制を整備

⑧平時から職員間で情報共有する体制 利用者の体調変化や施設内の状況※など、些細なことでも声を掛け合い、大事なことは掲示する ※例:発熱が見られ、個室対応に切り替えた利用者がいる(理由まで明確に!)

⑨感染症発生時に業務体制を切り替える準備、訓練 施設外受援体制の確保(法人内調整、介護職員応援派遣登録等)

⑩感染対策担当者等による施設内定期巡回、改善 ①~⑨の基本的対策が施設内で徹底できているかを確認し、対策を継続する

やったつもり 「言ったつもり」 ではなく、確実に





©岡山県「ももっち」



マスクやガウンの正しし 着脱方法や場面ごとの 基本的な感染対策説明 動画はコチラ

https://www.pref.okayama.jp/page/694501.html

岡山県新型コロナウイルス感染症対策室 感染防止対策班

TEL: 086-226-7802

## 正しい手の洗い方

# 正しい手の洗い方



- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう





流水でよく手をぬらした後、石けんを つけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのばすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、 清潔なタオルやペーパータオルで よく拭き取って乾かします。





厚労省





## 従業員の陽性が確認された場合の流れ

1 感染可能期間 日 (以降が感染可能期間) □ 陽性者となった方に症状がある場合 症状が出現した日の2日前は 日 (以降が感染可能期間) □ 陽性者となった方に症状がない場合 検体採取日の2日前は 2 陽性者となった方の最終出勤日を確認 令和 年 月 日 感染可能期間中の出勤と接触状況の確認 出勤した(2の日付が1以降) 出勤なし(2の日付が、1より前) 次のような接触をした方 (濃厚接触者) がいる。 該当なし □ 陽性者と一緒に会話しながら食事や喫煙をした (濃厚接触者以外)

□ 陽性者と最後に接触した日の翌日から7日間は自宅待機

□ マスクのない状態で、1m以内の距離で15分以上会話した

□ 1日2回、体温を測り健康状態を確認

濃厚接触者に自宅待機と健康観察を要請

□ 換気の乏しい空間に長時間一緒にいた

- □ 人との接触を控える
- □ 同居家族がいる場合は、自宅内でもマスク着用

 従業員の体調管理・注意喚起を継続

□ 感染防止対策を継続

※陽性者の最終出勤日の翌日から一週間程度は特に注意をする。 特に、濃厚接触者にあたらないが、接触のあった方へは、高齢者や 不特定多数の方が集まるイベント等への参加自粛を依頼する。

健康観察終了日 令和 年 月 日

濃厚接触者を含む従業員に発熱・咳などの症状が出た場合

□ 濃厚接触者であること(事業所で陽性者が発生していること)を事前連絡のうえ、かかりつけ医か発熱外来 を受診させてください。

## 新型コロナウイルス感染症の相談・受診の流れ

発熱やのどの痛み等、風邪の症状が出た場合は、まずは、 「かかりつけ医」 等に**電話相談**をしてください。

症状が出た方  $\mathcal{O}$ 痛



### かかりつけ医がいる場合

かかりつけ医へ電話相談 発熱外来でない場合には、発熱外来 を紹介してもらえます。



### 発熱外来受診

必ず事前に電 話予約の上、 マスクを着用 して受診して ください。



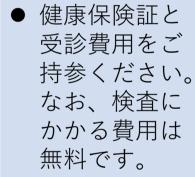
### かかりつけ医がいない場合

岡山県HPで発熱外来を探し電話相談 https://www.pref.okayama.jp/page/718423 .html#hatunetu-gairai



## 受診できる医療機関が見つからない場合

受診相談センターへ電話相談 https://www.pref.okayama.jp/page/718423. html#jushin



感 般染 的不 な安 おの あ る わな +



### 岡山県新型コロナウイルス感染症電話相談窓口

086-226-7877 (24時間対応) 電話